

Summary

泣くのはいやだ笑っちゃおう 進め

— 「ひょっこりひょうたん島」 テーマソングより

小説家、劇作家と幅広く活躍した井上ひさし（1934～2010）は、自ら遅筆堂を名乗るほど遅筆でした。しかし、その作品の完成度は高く、笑い、ことば遊び、パロディ、どんでん返しなど、ことばの魔術師と呼ばれるほど日本語の豊かさとおもしろさにあふれています。

放送作家として手がけた『ひょっこりひょうたん島』は国民的人気番組となり、1972年に小説『手鎖心中』で第67回直木賞を受賞、1981年に刊行した『吉里吉里人』で、第2回日本SF大賞、第33回読売文学賞を受賞しました。1984年には劇団こまつ座を旗揚げし、『頭痛肩こり樋口一葉』『父と暮せば』など、演劇史に残る話題作を発表し続けました。

生誕90年を記念する本展では、貴重な自筆原稿や創作資料、舞台映像などにより、井上ひさしの放送作家としての出発、小説の仕事、また、「演劇にはとてつもない大きな力がある」と語った戯曲の仕事を紹介し、その文学世界に迫ります。

Profile

井上 ひさし いのうえ ひさし / INOUE Hisashi

作家・劇作家 1934年生まれ 山形県置賜郡小松町（現・川西町）出身



井上ひさし 撮影：佐々木隆二

1934年11月16日、山形県東置賜郡小松町(現・川西町)に、父修吉、母マスの次男として生まれる。本名は廈。五歳のときに父が病没。亡父の蔵書を読みながら育つ。1953年、仙台第一高校を卒業、上智大学文学部ドイツ文学科入学。夏休みに母の住む釜石に帰省して休学。国立釜石療養所の公務員などを務めつつ二年余りを過ごした後、外国語学部フランス語学科に復学。浅草のストリップ劇場フランス座の文芸部兼進行係となり、台本も書きはじめる。戯曲『うかうか三十、ちよろちよろ四十』が芸術祭脚本奨励賞を受賞。放送作家をしながら、大学を卒業。

1964年、NHKの連続人形劇『ひょっこりひょうたん島』の台本を執筆(共作)。その後、五年間におよぶ。「泣くのはいやだ笑っちゃおう」というテーマ曲とともにミュージカル形式の番組は多くの人々に愛された。1969年、『日本人のへそ』で演劇界デビュー。1970年、『ブンとフン』で小説家デビュー。1972

年、『手鎖心中』で直木賞、『道元の冒険』で岸田戯曲賞ほかを受賞。以降、戯曲、小説、エッセイ、批評など多才な活動が続ける。東北の一寒村が独立する物語『吉里吉里人』はベストセラーになった。1984年、こまつ座を旗揚げ。旗揚げ公演の『頭痛肩こり樋口一葉』から以降、2009年の『組曲虐殺』まで、こまつ座のために共催を含めて25作品を執筆。1987年、蔵書を生まれ故郷の川西町に寄贈して図書館「遅筆堂文庫」が開館。

戯曲『父と暮せば』『ムサシ』『化粧』『藪原検校』などは海外公演でも高い評価を得ており、『父と暮せば』は、英語、ドイツ語、イタリア語、中国語、ロシア語、フランス語で対訳本が刊行されている。「九条の会」呼びかけ人、日本ペンクラブ会長、仙台文学館館長、また多くの文学賞の選考委員を務めた。2010年4月9日、75歳で死去。

Outline

展覧会名	企画展「生誕 90 年 井上ひさし展 むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく」
会 期	令和 6 年 (2024) 9 月 14 日 (土) ~ 11 月 24 日 (日)
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22
開館時間	9:30~18:00 (観覧受付は 17:30 まで) ※9 月 14 日 (土) は 10:40 開場
休 館 日	毎週火曜日
観 覧 料	一般 500 円 (400 円)、大学生 250 円 (200 円)、前売り・一般 400 円 ※ () 内は 20 人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。
主 催	高志の国文学館
共 催	富山新聞社、チューリップテレビ
特別協力	井上事務所、井上ひさし研究会、こまつ座、仙台文学館、遅筆堂文庫
展覧会担当	高志の国文学館 事業課 係長 小林 加代子 (こばやし かよこ)

Theme

序章 作家となるまで

生い立ちから作家となるまでを、略年譜、写真、関連書籍により紹介します。幼少時に紙芝居として遊んだ『近代劇全集』別冊の舞台写真帖、初めて自分で注文した宮沢賢治『どんぐりと山猫』等の旧蔵書、大学在学中に浅草のフランス座に勤め、執筆、上演された台本等を展示します。

第一章 放送作家としての出発

国民的人気番組となった『ひょっこりひょうたん島』、後に発表する『吉里吉里人』の原形となったラジオドラマ『ツキアイきれない』の台本等を展示します。また、第 12 回日本レコード大賞童謡賞を受賞した「ムーミンのテーマ」の歌詞パネル、東芝レコードヒット賞表彰盾等を展示します。

第二章 小説家としての仕事

井上自身が大学時代に耽読した江戸の戯作者たちを描いた直木賞受賞作『手鎖心中』、仙台で過ごした青春時代をモチーフとした『青葉繁れる』、東北の小さな村の独立を描きベストセラーとなった『吉里吉里人』、完成までに 20 年の歳月をかけ、戦後の国語国字問題を扱った『東京セブンローズ』を中心に、自筆原稿、創作資料、旧蔵書、関連書籍等を展示します。

第三章 劇作家としての仕事

1971 年にテアトル・エコーで初演、1989 年に改稿して「決定版」としてこまつ座で上演された『十一ぴきのネコ』、こまつ座旗揚げ公演作品『頭痛肩こり樋口一葉』、NHK でテレビドラマとして放映ののち舞台作品として上演された『国語元年』、広島で被爆した父と娘を描いた『父と暮せば』、林芙美子の戦中戦後を描いた『太鼓たたいて笛ふいて』、小林多喜二を描いた井上ひさし最後の戯曲『組曲虐殺』を取り上げ、自筆原稿、創作資料、旧蔵書等により戯曲が完成するまでの創作過程を紹介します。また、チラシ、ポスター、舞台写真、舞台映像等により、演出家、俳優、音楽家はじめ多くの人に関わることによって舞台が立ち現われ、観客とともに一回限りの場を生み出す演劇の魅力の一端を紹介します。

第四章 井上ひさしの書齋

井上ひさしは、蔵書家として知られました。創作前には本を集めて徹底的に調べ、綿密な年表や地図、抜き書き帳、プロット等を作成したうえで執筆に臨みました。ここでは、井上ひさしの書齋道具を展示します。また、本の読み方や、作文の書き方を記したエッセイを紹介するとともに、使用した国語辞典、古語辞典などを展示します。

資料点数 約 210 点（画像・映像・書籍・雑誌等を含む）

Topics

- 1 残された膨大な自筆原稿や**創作資料、旧蔵書、愛用品の中から厳選し、生誕 90 年記念展にふさわしい充実した資料**を紹介します。
- 2 企画展で紹介する戯曲 6 作品の貴重な**舞台映像を、約 50 分のダイジェスト映像として上映するコーナー**を設置します。
- 3 井上ひさしの小説、戯曲から、**印象的なことば**を選んでパネルやバナー（吊り幕）で視覚的に紹介します。
- 4 **井上ユリ氏（井上ひさし夫人）による記念講演や、館長 室井滋が富山県ゆかりの俳優、アナウンサーを迎えて演じるリーディング・シアター（朗読劇）**を開催します。
- 5 井上ひさしが作詞を手がけた「ムーミンのテーマ」とともに、館長 室井滋の思い出の「ムーミン」コーナーを設けます。
- 6 FMとやまとのコラボによる**館長 室井滋の朗読の上映コーナー**を設置します。
- 7 井上ひさしの代表作や、子どもたちにおすすめの作品を読むことができる**書籍コーナー**を設置します。また、井上ひさしが子どもの頃に読んだ本、富山ゆかりの作家について書かれたエッセイ等を紹介します。

Events

（1）記念講演 ひさしさんの思い出

[講師] 井上ユリ（井上ひさし夫人）
 [聞き手] 生田美秋（高志の国文学館事業部長）
 [日時] 9月14日（土）14:00～15:30
 [会場] 当館 ライブラリーコーナー
 ◎申込必要 ◎定員／150名 ◎参加無料

（2）リーディング・シアター（朗読劇）

[作] 井上ひさし
 [作品] 『水の手紙 群読のために』（平凡社）、『イツップ株式会社』（中公文庫）
 「あくる朝の蝉」（『四十一番の少年』文春文庫）より
 [出演] 館長 室井滋、内浦純一、瀬尾智美、木下一哉、友井賢太郎（ピアノ）
 [日時] 10月12日（土）18:00～19:30（17:30 開場）
 [会場] 当館 ライブラリーコーナー
 ◎申込必要 ◎定員／150名 ◎参加無料

(3) 映画 DVD 上映会

[作 品] 「父と暮せば」

原作：井上ひさし 監督：黒木和雄 出演：宮沢りえ、原田芳雄、浅野忠信

配給：パル企画 2004年 99分

[日 時] 11月2日(土) 14:00~15:50

[会 場] 当館 研修室 101

◎申込必要 ◎定員/130名 ◎参加無料

(4) 担当学芸員によるギャラリートーク (展示解説)

[日 時] 10月6日(日)、10月20日(日)、11月3日(日)、11月17日(日)

各回 14:00~(約30分)

[会 場] 当館 企画展示室

◎申込不要 ◎要観覧券

■ 申込方法

電話・FAX・WEB申込フォームにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を高志の国文学館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込で、定員に達している場合のみ当館からご連絡いたします。

申込フォーム：<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=X9UPUUhR>

Images



1 展覧会ポスター

2 井上ひさし 肖像
撮影：佐々木隆二3 井上ひさし 色紙
「むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをゆかいに ゆかいなことをまじめに書く」 高志の国文学館蔵4 『吉里吉里人』原稿
仙台文学館蔵5 『國語元年』用「買ってください」
方言分布図(明治初年当時)
仙台文学館蔵

高志の国文学館 企画展
「生誕 90 年 井上ひさし展 むずかしいことをやさしく
やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく」
広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490
E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 展覧会ポスター
- 画像 2 井上ひさし 肖像 撮影：佐々木隆二
- 画像 3 井上ひさし 色紙「むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをゆかいに ゆかいなことをまじめに書く」 高志の国文学館蔵
- 画像 4 『吉里吉里人』原稿 仙台文学館蔵
- 画像 5 『國語元年』用「買ってください」方言分布図（明治初年当時）仙台文学館蔵